



令和3年度の予算案をお知らせします……2・3面

東日本大震災から10年切迫する首都直下地震への備えを……5面

3月20日 西部図書館がリニューアルオープン……7面

市からのお知らせ……11面から

引っ越しシーズンです 手続きはお早めに……12面

新型コロナウイルス感染症の苦難を越えて、「明日のまち三鷹」の推進を

令和3年度予算案 一般会計732億4,228万円



三鷹市長
河村 孝

新年度の 施政方針(概要)

令和3年の第1回市議会定例会が2月26日に開会し、新年度の市の予算案が審議されています。今号では、新年度の予算案と主な事業について紹介します。

予算案の概要については、2・3面で紹介しています

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、地域経済や医療現場をはじめ市民生活全体に甚大な影響が生じており、市政運営も総力に対応せざるを得ない状況が続いています。市民の皆さんの暮らしや地域経済の元気を取り戻し、活力あるまちにしていくためには、何よりも、感染症対策の徹底を最優先とし、この猛威を乗り越えていく必要があります。そのうえで、しっかりと未来を見据えた「明日のまち三鷹」を示すことが、私に託された責務だと考えています。

令和3年度は、徹底した感染症対策を基礎として、大きな感染症の波を回避しながら『第4次三鷹市基本計画(第2次改定)』に基づき、防災都市づくりや新たな市民参加の実践、医療・介護などの各施策を着実に進めていきます。そして、5年度の『三鷹市基本構想』の改正と『第5次三鷹市基本計画』の策定を見据え、この激動の時代を市議会や市民の皆さんと共に乗り越え、「SDGs」の理念を踏まえた持続可能なまちづくりに全力で邁進していきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症への 対応と支援の継続

窓口における市民サービスの向上

キャッシュレス決済をはじめとした非対面・非接触型サービスの拡充を進め、感染症対策をしつつ、市民サービスを向上します。また、非接触型行政手続きの基盤となるマイナンバーカードの交付体制をさらに拡充します。

感染症の影響の長期化への対応

令和2年度補正予算、3年度当初予算と切れ目のない、きめ細かな感染症対策を盛り込みましたが、刻一刻と変化する状況に合わせ、適宜、補正予算を編成し軌道修正するなど、引き続き、機動的な対応を図ります。

ワクチンの接種体制

3月までに医療従事者、4月以降に高齢者の接種を開始できるように準備を進めています。引き続き、三鷹市医師会と連携・調整しながら、全庁一丸となって円滑な接種体制を確保し、実施計画の方向性が定まった段階で補正予算を編成していきます。ワクチンの最新情報は市ホームページ(右記二次元コード)でお知らせしています。



『第4次三鷹市基本計画(第2次改定)』に基づく施策の推進

施策の柱 「都市再生」の推進

防災力の向上を図り、成熟した都市の質的向上に取り組みます。中核となる三鷹駅南口中央通り東地区再開発では、三鷹駅前地区を対象とした『新三鷹駅前地区再開発基本計画(仮称)』の策定に向け、アンケートやヒアリング等の意向調査、ワークショップなどを行います。また、地権者などとの合意形成を図りながら、市の方針として『三鷹駅前再開発に関する基本プラン(仮称)』を策定し、令和5年度の都市計画決定を目指します。



三鷹駅前再開発のイメージコンセプト

公共施設の老朽化への対応としては、市庁舎を含めた公共施設の建替え・改修の基本的な方針となる『新都市再生ビジョン(仮称)』の4年度の策定に向けて、改修の優先順位などの調整

を進めます。

また、共助を中心とした防災都市づくりの中核機能を担う「防災NPOみたか(仮称)」の設立に向けた取り組みを通して、地域における防災活動の強化を図ります。

施策の柱 「コミュニティ創生」の取り組み

ともに支え合う地域社会の実現を目指し、市民の皆さんの思いやアイデアを政策提案につなげる、これまでにない新しい市民参加の実践に取り組みます。9月からの本格的な活動を目指すと同時に、将来的な庁舎の分散ネットワーク化も視野に入れ、三鷹駅前に活動拠点を整備します。

介護の分野では、旧どんぐり山施設の利活用の中で先駆的な取り組みを進めるため、在宅医療・介護の研究、介護人材の育成拠点、ミドルステイを中心としたモデル施設として整備するための事業計画などを策定します。

学校教育の分野では、スクール・コミュニティの創造に向けて、三鷹教育・



地域と学校との交流の状況

子育て研究所での検討を進めるとともに、「スクール・コミュニティ推進委員会(仮称)」を設置するなど、多様な地域団体などと連携しながら、子どもたちの活動を地域で支える仕組みを構築します。

そのほかの施策

「都市再生」と「コミュニティ創生」の「施策の柱」に加え、『第4次三鷹市基本計画(第2次改定)』の8つの施策と新型コロナウイルス感染症対策を推進し、時代の空気感をいち早く捉えながら、市民ニーズに合致した事業展開を図ります。令和3年度の主な事業は2面をご覧ください。

持続可能な自治体経営の推進

リーマン・ショックの影響を受けた平成22年度予算に次いで、市税収入が大幅な減収見込みとなった令和3年度予算は、事務事業の見直しや市有地の売却、経常経費のマイナスシーリングなどにより財源を確保しつつ、新型コロナウイルス感染症対策とともに、市民の命と暮らしを最優先とした予算を編成しています。4年度以降も予算を許さない財政状況が見込まれており、経済状況の影響を最小限とするような強固な財政基盤の構築に向けて、徹底した行財政改革を推進します。

令和3年度の予算案をお知らせします

問 財政課 ☎内線2122

3年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は1,105億570万6千円で、前年度と比較すると14億4,005万1千円(1.3%)の増となります。

一般会計の予算額は732億4,227万6千円で、前年度と比較すると10億5,780万円(1.5%)の増です。これは、新型コロナウイルス感染症や待機児童対策、児童・生徒1人1台の学習用タブレット端末の運用などによるもので、過去最大の規模となります。

特別会計の予算額の合計は372億6,343万円で、前年度と比較すると3億8,225万1千円(1.0%)の増です。これは、介護サービス事業・介護保険事業特別会計の増などによるものです。

下水道事業会計(公営企業会計)の単年度収支は、収益的収支で2億6,037万3千円の純利益が見込まれ、資本的収支で7億2,367万8千円の不足が見込まれています。

今号では、こうした3年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

各会計別の予算額

(単位：千円)

会計	3年度 予算額	2年度 予算額	増減		
一般会計	73,242,276	72,184,476	1,057,800	1.5%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	17,883,973	18,020,914	△136,941	△0.8%
	介護サービス事業特別会計	870,825	656,659	214,166	32.6%
	介護保険事業特別会計	14,074,045	13,793,024	281,021	2.0%
	後期高齢者医療特別会計	4,434,587	4,410,582	24,005	0.5%
	合計	37,263,430	36,881,179	382,251	1.0%
総計	110,505,706	109,065,655	1,440,051	1.3%	
純計	103,562,432	102,357,690	1,204,742	1.2%	

※「純計」とは会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。

※「△」はマイナス。

(単位：千円)

下水道事業会計	3年度 予算額	2年度 予算額	増減		
収益的 収入・支出	収入	3,506,399	3,562,208	△55,809	△1.6%
	支出	3,246,026	3,459,989	△213,963	△6.2%
	差し引き	260,373	102,219	158,154	154.7%
資本的 収入・支出	収入	1,337,497	1,321,957	15,540	1.2%
	支出	2,061,175	1,971,650	89,525	4.5%
	差し引き	△723,678	△649,693	△73,985	△11.4%

※「△」はマイナス。

一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位：百万円)

	平成29年度		30年度		令和元年度		2年度		3年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出総額	67,620	△2.8%	68,828	1.8%	68,976	0.2%	72,184	4.7%	73,242	1.5%
うち市税	37,290	1.4%	37,340	0.1%	38,059	1.9%	38,281	0.6%	36,857	△3.7%

※「△」はマイナス。

一般会計 732億4,228万円
(1人当たり385,486円)

※「%」は一般会計予算に占める割合を示しています。
※1人当たりの金額は、3年度の人口見込み190,000人で割り戻した金額です。

歳出予算

議会費
市議会の運営に

5億78万円 0.7%
(1人当たり2,636円)

総務費
市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに

90億4,578万円 12.4%
(1人当たり47,609円)

民生費
社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに

382億4,755万円 52.2%
(1人当たり201,303円)

衛生費
健康増進、ごみ処理、公害対策などに

45億2,909万円 6.2%
(1人当たり23,837円)

土木費
道路、公園整備、緑化対策などに

56億6,195万円 7.7%
(1人当たり29,800円)

消防費
消防や防災対策などに

22億7,660万円 3.1%
(1人当たり11,982円)

教育費
小・中学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに

82億6,533万円 11.3%
(1人当たり43,502円)

公債費
市債(借入金)の返済に

37億5,726万円 5.1%
(1人当たり19,775円)

その他
消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに

9億5,794万円 1.3%
(1人当たり5,042円)

歳入予算

市税
みなさんからお預かりする税金

368億5,668万円 50.3%
(1人当たり193,983円)

各種交付金
使い方が定められていない国・都からの交付金など

60億5,646万円 8.3%
(1人当たり31,876円)

使用料・手数料、分担金・負担金
保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入

17億2,394万円 2.3%
(1人当たり9,073円)

国庫支出金
使い方が定められている国からの負担金・補助金

127億6,463万円 17.4%
(1人当たり67,182円)

都支出金
使い方が定められている東京都からの負担金・補助金

101億4,739万円 13.9%
(1人当たり53,408円)

繰入金
基金(貯金)の取り崩しなど

25億1,613万円 3.4%
(1人当たり13,243円)

市債
都市再生に係る事業などのための借入金

8億1,210万円 1.1%
(1人当たり4,274円)

その他
前年度決算の繰越金や財産売却収入など

23億6,495万円 3.3%
(1人当たり12,447円)

3年度の主な事業

世界に開かれた平和・人権のまちをつくる

- 「人権基本条例(仮称)」の制定に向けた取り組み 13万3千円

安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる

- 野崎二丁目東西道路の整備 6,283万2千円
- 宮下橋の架け替えに向けた仮橋設置工事の実施 7,805万2千円
- 災害時緊急情報配信サービスの導入 70万6千円
- 防災NPO組織の設立に向けた取り組み 385万2千円
- みたかバスケットの抜本的な見直し(※) 887万6千円

(※)運行距離や運行間隔などの課題を踏まえ、コミュニティバスの利便性向上と地域活性化につながるよう抜本的な見直しを行います。3年度は、三鷹台・大沢地区のルート変更を検討します。



希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる

- より実践的な避難行動要支援者名簿の整備と活用 1,418万円
- 介護人材の確保に向けた支援の推進 1,408万4千円
- 「日どんぐり山施設」の利活用 3,056万4千円
- 「はなかいどう」大規模改修工事の実施 1億5,475万円
- 障がい者の生活を地域で支える地域生活支援拠点の整備 719万4千円

創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちをつくる

- 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総点検(※) 831万5千円
- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴う市民一体となった感動体験の創出とレガシーの創造 1億1,925万2千円
- 「吉村昭書斎(仮称)」の整備 360万円



(※)総点検を踏まえた「基本的な考え方」に基づき、具体的な改善方法について、市民参加・学識参加・職員参加を組み合わせ検討を進め、スポーツ・生涯学習・芸術文化が融合した「元気創造都市みたか」の拠点創出につなげます。

ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる

- 新たな市民参加の実践 3,715万8千円
- 市民参加の拠点整備 5,367万7千円
- 地域コミュニティ活性化の推進 1,333万9千円
- 市制施行70周年記念事業の実施 2,498万円



(※)飲食店の経営支援と外出を控えている消費者の買い物支援、学生などの就労支援を目的に実施しているデリバリー三鷹について、9月まで実施期間を延長します。

魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる

- スマートシティ三鷹の実現に向けた取り組み 1,559万4千円
- 住民情報システムの共同利用(東京自治体クラウドの導入) 4億5,269万7千円
- 市内産農産物の活用促進に向けた取り組み(※) 995万1千円
- 『新都市再生ビジョン(仮称)』の策定 1,354万4千円
- 三鷹駅前広場の整備の推進 3億4,592万3千円
- 三鷹駅前周辺地区のまちづくりの推進 300万円
- 三鷹駅前地区再開発の推進 810万1千円



(※)公立・公私連携保育園を対象とした「三鷹産野菜の日」と、学校給食に使用する市内産農産物の購入経費などへの補助を継続するとともに、さらなる産地消の拡充と都市農業の振興を図ります。

人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる

- 井口特設グラウンドにおける土壌調査などの実施 1,919万4千円
- 粗大ごみ処理制度の変更 1億3,002万2千円
- し尿投入施設の整備 1億4,708万2千円
- 雨水貯留施設の設置と上部空間の公園・道路整備 1億6,321万1千円

いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる

- 子どものいる家庭への宅食・見守り支援の取り組み 700万円
- 時代に即した子育て支援に向けた情報発信・相談体制の強化 967万8千円
- 認証保育所における1歳児受け入れの促進 1,282万9千円
- 私立認可保育園の開設支援 4億1,105万円
- 学童保育所待機児童の解消に向けた取り組み(※) 8,637万1千円
- スクール・コミュニティの創造に向けた取り組みと「教育フォーラム2021(仮称)」などの開催 1,989万円
- 学習用端末などの活用 2億8,016万3千円
- 『学校施設長寿命化計画(仮称)』策定と大規模改修工事などの推進 2億3,154万4千円
- 学校空調設備の体育館への整備と計画的な更新 7,361万1千円



(※)新たに学童保育所3カ所と分室2カ所の運営を開始するとともに、既存施設の受け入れを拡充します。また、西多世代交流センターの児童館機能を拡充し、子どもの居場所確保を推進します(写真は三小学童保育所D)。

新型コロナウイルス感染症対策

- 新型コロナウイルス感染症対策の推進 6,540万6千円
- デリバリー三鷹の実施期間の延長(※) 4,777万6千円

『令和3年度施政方針・予算概要』(1冊200円)、『令和3年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書』(1冊900円)は、相談・情報課(市役所2階) ☎内線2215で販売しています。また、市ホームページでもご覧いただけます。